

教室関係

学部

昭和44年度の地理学科開講科目

- ・地理学概論 4 渡辺 地理学本質論と発達史
- ・日本地誌Ⅰ 3 渡辺 日本の概観と日本各地方の地誌的考察
- ・経済地理学Ⅰ 3 松井 日本と世界の農業経済地理
- ・日本地誌Ⅱ 3前 松井 日本の農業地域
- ・植物地理学 3前 松井 自然地域の構成要素としての植生
- ・地理学特講 3前 松井 那須野盆地の地誌
- ・気候学Ⅰ 1 浅井 気候の理論及び気候誌, テキスト, 福井英一郎著気候学概論
- ・陸水海洋学 3後 浅井 陸水誌・海洋誌と人間生活・人文地理学との関連
- ・外国地誌Ⅰ 2 浅井 ヨーロッパの地誌地域区分と地域差を明かにする
- ・自然地理学実験3前 浅井 気候・陸水に関する観測と実習
- ・地質学 2 浅海 地層・岩石・鉱物の生成・分類・地史の概要
- ・土壌学 3前 浅海 土壌の生成・分類, 世界・日本に於ける土壌地理学
- ・自然地理学実験3後 浅海 地形・土壌の観察, 採集土壌の分析実験
- ・地理学演習Ⅱ 独書講読 3 浅海 基礎的の古典文献, 最近の論文の輪読
- ・地形学 2 式 種々の地形, 地形の輪廻, 発達史・分析に関する理論と実例
- ・地図学演習 2 式 地形図の作成・計測判読等の説明と実習
- ・写真地理学 3後 式 空中写真・写真測量の知識と判読の解説と実習
- ・集落地理学 2・3前 正井 日本・外国の集落とくに村落地理学
- ・外国地誌Ⅱ 3・4 正井 アングロアメリカ地誌
- ・地理調査法Ⅰ 3後 正井 人文地理学的研究に関する調査法, 実習を伴う
- ・都市地理学 3後 正井 世界各地の都市の形態・機能・発達過程・分布に関する研究
- ・地理学演習Ⅰ 英書講読 2 正井 P・E・James; A Geography of Manの講読
- ・政治地理学 3・4前 別技 政治地理学の意義, 境界論, 政治地理的問題の具体例等
- ・経済地理学Ⅱ 3後 山鹿 工業および商業地理の概説
- ・交通地理学 3後 有末 交通地理学の概念と交通問題の展望と対策
- ・気候学Ⅱ 3前 福井 日本の気候の全般的特性と, 西日本地方の気候誌の概説
- ・地図学 1前 岡崎 地図発達史と地図の基礎的知識, 読図, 投影法と作図

- ・地理学特講Ⅱ 3 後 竹内 ヨーロッパを中心とした文化地理学の諸問題
- ・地理学演習Ⅱ 3 外国雑誌の論文の紹介と文献による地誌のまとめ
- ・地理学演習Ⅳ 4 卒業論文の中間報告及び発表

### 一般教育・教職課程

- ・地理学 I 渡辺 世界主要文化地域の概観
- ・地学(地質鉱物)Ⅰ後 式 重力, 地震, 火山, 岩石, 地層, 地史など地学的現象の解説
- ・教科教育法(地理)3前 大和田 地図の話, 指導要領の解説, 地理教育のあり方等

### 地理学巡検

松井先生	9月	那須野	3年生	終了
浅井先生	7月	志賀高原	1年生	終了
浅海先生	8月	鬼無里村	3年生	終了
式先生	未定			
正井先生	45・3月	四国	2年生	終了

この他一日巡検が3回行われた。

### 卒業論文

本年度の卒業論文は1月17日提出された。題目は下記の通りである。

		指導教官
安西 久子	宇都宮市の都市化と都市機能	正井
伊坪美知子	神奈川県密柑栽培	浅海
石井悠美子	米沢盆地の地誌—農業を中心として—	渡辺
北沢 桂子	岩手県金ヶ崎町の酪農	松井
小泉 房子	槻川流域山地と比企北丘陵の地形と土地利用	式
木場 和子	茨城県鹿島南部農業の変容過程に関する地理学的考察	式
瀬尾 由紀	金沢市の都市地理的考察	正井
野村 矩子	高地県南国市における施設園芸の展開	松井
長谷川博子	千葉県八千代市における酪農業の展開	浅井
原賀真理子	甲府盆地北東部の農業的土地利用について	浅海
本沢みどり	栃木県西那須野町の地理学的考察	松井

山形 雅子	都市化と地域社会—兵庫県西宮市の生活環境の実態	正井
吉原 和子	水産加工業の変貌過程についての地理的考察—銚子市を フィールドとして—	式

## 大学院

44年3月に二瓶直子さんが修士の称号を受けた。市川・宣寿山の諸姉は家庭の事情で退学した。本年度の入学生は、本学出身の中間（森山）美美子さん、法政大学出身の石田カヨさん、早稲田大学出身の坂口（浜島）陽子さんの3人である。開講科目は下記の通り。

- ・地誌学演習 渡辺 文献による地誌研究の実例と、現地調査による地誌調査
  - ・微細地誌特論 松井 微細地誌の方法論について
  - ・地域特論 松井 地理学における地域概念について
  - ・気候学特論 浅井 小気候の要素と土地との関連について
  - ・自然地理学演習 浅海 地形・土壌の野外観察と室内作業・分析法の実地
  - ・地誌特論 式 自然地理学的・地形誌的地域区分の実例と文献の講読
  - ・人文地理学演習 正井 比較都市地理学
  - ・経済地理学特論 山鹿 地理学研究方法とその実例の紹介
  - ・文化地理学特論 別技 日本・アジアを中心とした文化地理学の諸問題
  - ・地形学特論 佐藤
  - ・気候誌特論 福井
- 人文地理学特別研究 松井  
 自然地理学特別研究 浅井  
 地誌学特別研究 渡辺  
 野外調査 浅海 式 正井

## 修士論文題目

何 芳子 台湾における工業分布の地域的研究 — 立地的考察  
 小林 寧 近畿・中国・四国地方における地形別人口密度の動態に関する人口地理学的考察  
 松本園子 明治・大正・昭和期における関東地方の都市の分布

## 教官の学内役職

渡辺先生 紀要編集委員 予算委員 大学院委員会委員  
松井先生 地理学科主任 図書館運営委員 図書選定委員 教務委員 入試委員  
浅井先生 1年生補導委員 施設計画委員  
浅海先生 4年生補導委員 建築委員長 学生会館運営委員長 ラジオアイソトープ実験室準備委員  
式 先生 3年生補導委員 臨海実験所準備委員  
正井先生 2年生補導委員

## 教務補佐員

教務補佐員の配置状況は下記の通りである。

伊藤 敦子 ( 本学昭 4 2 卒 ) 人文地理学  
山本 蓉子 ( 本学昭 3 9 卒 ) //

二瓶 直子 ( 本学修士昭 4 4 卒 ) 自然地理学  
杉木 良子 ( 本学昭 3 0 卒 ) 自然地理学及び図書整理  
谷 浩子 ( 本学教育昭 4 1 卒 ) 自然地理学  
馬場由美子 ( 本学修士昭 4 3 卒 ) 地誌学および空中写真整理  
林原 陽子 ( 本学修士昭 4 3 卒 ) 地誌学

## 学 会 関 係

44年4月26～29の4日間にわたって、1969年度日本地理学会総会および春季学術大会が行われた。26、27両日はオリンピック記念青少年総合センターにおいて研究発表が行われた。本学関係の発表者は次の通りである。浅井辰郎先生：佐梨川における積雪と出水に関する調査(1)主として積雪について。(2)主として融雪出水について(新井正・立石由巳・山辺功二・長谷川力・平山光衛・西沢利栄市瀬由目・高山茂美・鈴木隆介氏と共同研究、平田茂子氏(12回生)：大間々扇状地の地下水—特に地下水の塩素分布について、長瀬睦子氏(1回生)：水戸附近の地形について 瀬戸玲子氏(2回生)：標準メッシュの設定とメッシュ法によるデータの処理の例(その1)(高崎正義・上西時彦氏と共同研究)。巡検は、信濃川中流部の地形と地殻変動、多摩丘陵特に大栗川流域の水文・地質・地形、東京中心部の変容と再開発、国土地理院と水路部の見学の4班に分れて行われた。

秋季大会は大学紛争のあおりで、直前に会場が宮城教育大附属中学に変更になったりしたが、ともかくも10月9日には都市地理、農業地理、計量地理、水文学、地理学と教育、の5つの研究委員会が開かれ、瀬戸玲子氏(2回生)がメッシュ法による国土の基本資料の整理の諸問題(山崎寿男氏と共同研